町民と議会をむすぶ

町議会だより

池田町

VOL. 38

令和8年8月1日発行

【6月定例会】

議案審議…… 2～3
委員会審議
予算常任委員会…… 4～5
一般質問 4人が登壇…… 6～7

写真「よっこら農縁」

ほっとプラザ前の畑で、元気に育つ野菜たち

デイサービスを利用されている方の中で、畑仕事が好きな方々が集まり、「よっこら農縁」としてほっとプラザ前の畑で野菜づくりに励んでいます。収穫した野菜はほっとプラザなどで販売を行っています。みなさんもぜひ、買いに来てください。

6月定例会

令和8年6月15日(月)～18日(木)

令和８年6月定例会が6月15日～18日の4日間にわたり開催され、一般会計・特別会計・企業会計の補正予算7件、条例改正3件、工事請負契約1件の11議案が提出され全議案可決されました。

議案第36号	**専決処分の承認を求めることについて** **(専決第４号 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第４号))** …診療収入減少に伴い基金繰入金を増額
議案第37号	**専決処分の承認を求めることについて** **(専決第５号 池田町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)** …職員の職務内容の整理に伴う改正
議案第38号	**専決処分の承認を求めることについて(専決第６号 池田町町税条例の一部を改正する条例)** …地方税法改正に伴う、軽自動車税環境性能割の廃止、固定資産税の免税点見直し等
議案第39号	**専決処分の承認を求めることについて(専決第７号 池田町介護保険条例の一部を改正する条例)** …介護保険法施行令の一部改正に伴う、保険料の特例減免措置の創設
議案第40号	**令和８年度 池田町一般会計補正予算(第１号)** …7,315万５千円を追加し、予算の総額を65億1,715万５千円とする **主な内容** • 生ごみ回収車を軽トラックへ更新(255万１千円) • 人口ビジョン見直し(105万６千円) • 特定地域づくり事業協同組合設立準備(1,100万円) • 志津原土合皿尾地区における観光基本構想策定(83万円) • 町道板垣持越線の災害復旧工事(4,000万円) • 人件費の補正等
議案第41号	**令和８年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第１号)** …73万１千円の減額(施設修繕・人件費増)
議案第42号	**令和８年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第１号)** …262万２千円の減額(人件費減額)
議案第43号	**令和８年度 池田町介護保険特別会計補正予算(第１号)** …65万７千円の増額(人件費増)
議案第44号	**令和８年度 池田町簡易水道事業会計補正予算(第１号)** …40万２千円の増額(施設修繕・人件費増)
議案第45号	**令和８年度 池田町下水道事業会計補正予算(第１号)** …105万５千円の増額(施設修繕・人件費増)
議案第46号	**物品購入契約の締結について 池田町庁舎・複合施設書架購入事業** …契約額　税込み7,700万円　　契約者　(株)マルキファニチャー ▲図書スペースのイメージ

町長施政方針および諸般の報告

令和８年６月定例会

池田町の人口は2,285人であり、25年前と比較して約４割減少している。これまで各種施策に取り組んできたものの、人口の維持・定着については課題が残る状況にある。今後も、町民とともに将来のまちの姿を描きながら取組を進めていく考えである。

一方、冠山峠道路や北陸新幹線の開通、道路整備の進展、脱炭素先行地域への認定などにより、本町を取り巻く環境は大きく変化している。こうした変化を好機として捉え、「まちを整える」から「まちを育てる」へと協働型むらづくりが重要だと考えている。

その足がかりとして、「農村農業振興プラン」、「志津原・土合皿尾地区観光グレードアップ計画の再考」、「上下水道事業の検証と持続可能な将来ビジョン」、「図書公民館・ツドエルの事業魅力化プラン」、「学校教育の在り方検討会」に取り組みたいと考えている、そして、その検討内容については、まちづくり総合戦略に反映していきたいと考えている。

また、新たな取組として「特定地域づくり事業協同組合※」の設立準備を進めていく。

新庁舎等建設事業では、職員より提案があった、ふるさと納税制度を活用した、町民全員での返礼品参加作戦「ふるさと2,200人の逸品・珍品プロジェクト(仮称)」や、記念柱寄付事業「私から百年後(のち)への記念品」の具現化を図り９月頃から募集を開始する予定である。

今後も、町民の皆様とともに持続可能で魅力あるまちづくりの実現に向け、取り組んでいく。

※特定地域づくり事業協同組合とは

少子高齢化や人口減少が進む中、地域の仕事を安定して支えていくために、地域の複数の事業者(農業、観光、福祉など)が協力し、組合をつくり、職員を雇用するものです。

この職員は、特定の一つの職場だけでなく、季節や業務に応じて複数の仕事を担うことで、年間を通して安定した収入を得ることができます。

予算常任委員会
質疑応答

委員長 岡村　祐　　副委員長 佐野和彦
委　員 宇野邦弘　宇野一正　松井靖明
丸石純一　富田重弘　清水龍司

一般会計補正予算

食Uターン回収車の詳細
環境推進関連

清水議員　食Uターン回収車購入の詳細説明願う。

総務財政課長　現在の2tトラックは、後輪がダブルタイヤのためスリップしやすく、座席も高いので乗り降りが大変。誰でも使いやすい車両と思い、軽トラック(ダンプ式)でオートマチック・4WDを購入予定。

岡村議員　現在の2tトラックはどうするのか。

副町長　連休明けは収集量が多く、軽トラックでは溢れるリスクがあるため、2tトラックも回収車として残し併用する。

▲食Uターン回収状況

特定地域づくり協同組合の雇用形態
地方創生推進関連

宇野邦弘議員　組合利用料金1，500円(毎時)に対し、職員賃金1，200円(時給)とあるが差額は組合のマージンとなるのか。

総務財政課長　差額は組合が社会保険料や経費として使用する。

富田議員　雇用形態が正社員とあるが、年間を通じて仕事があるのか。

総務財政課長　夏は、TPA場。福祉施設では補助的仕事や農家の手伝い。冬はスキーもある。複数業種と連携し仕事を探す。

松井議員　通年雇用となった場合、一般的な派遣業者は、派遣業務と紹介業務の2つを持つが、協同組合は、紹介業務はせずに派遣業務のみか。それとも、求められた場合は紹介業務も行うのか。

総務財政課長　派遣業務のみと考えている。

佐野議員　協同組合事業は国の支援があるから行うのか、国の支援がなくなった場合、町は継続していくのか。また、事務局長は誰が行うのか。

総務財政課長　財政支援は続くと思っている。事務局長になる人のコーディネート能力が非常に問われる。今は決まっていない。

宇野一正議員　派遣を希望している企業は現状あるのか。

総務財政課長　この制度を立ち上げた際には説明会を開く。

宇野一正議員　マルチワーカー(正職員)が来た場合の宿泊先は考えているのか。

総務財政課長　旧池田分校を改修し泊まれるようにと考えているが、そこまで一気に進められないので町営住宅などを使用したい。

丸石議員　マルチワーカーは役場および第三セクターがメインで一般開放はされないという認識だが、現状は町内にあるすべての企業が組合員の対象となるのか。

総務財政課長　第三セクターに限らず声掛けをしようと考えている。農家であれば生産組合も対象となる。

丸石議員　設立準備の補助金で事務局長賃金が65万円だが安すぎるのではないか。

総務財政課長　事務局長の賃金は設立準備段階のもの。

コミュニティー助成事業の補助対象
自治振興関連

松井議員　補助金の説明の中で山田区の集会場エアコン設置や提灯の更新をしたが、神社仏閣に対して補助対象とならないはずだが制度は変わったのか。

総務財政課長　山田区が利用したのは県の補助金制度。一般財団法人総合センターが行っているコミュニティー補助事業。内容は、100万円以上で250万円以下の事業に対し10分の10補助する制度で宝くじ収入を使用したもの。提灯に適用できたのは、提灯は区のものとして申請し受理された。町・県の双方とも神社仏閣については利用できない。

志津原・土合皿尾
グレードアップ計画
農村政策課関連

清水議員　TPA第3期計画を見据えた魅力向上の検討とあるが1期目・2期目を考慮し、3期目に反映しなければならないと思う。改善点を明確にして、施設職員の意見も3期目の計画に取り入れるべき。

副町長　辺地債で作成した計画を財政も含め、吟味して絞り込んでいく。新しいことを考えるより今あるものについて考える作業が中心となる。

丸石議員　志津原地域の枯れ木伐採は、以前議会からも出たと思うが、調査をされて伐採となったのか。遊歩道に下りる階段も土がなく宙に浮いた状態になっている。

▲足羽川沿い遊歩道の老朽化状況
(志津原地係)

農村政策課長　きっかけは、草刈りの際に立ち枯れを発見。国道側に倒れる危険があり伐採となった。遊歩道へ下りる階段は直す予定はないが現地を確認する。

佐野議員　観光グレードアップ策定だが、具体的な中身を出して頂きたい。ハード加してもらうことは考えているか。

農村政策課長　いけだ観光公社の理事・評議員を中心に考えている。

宇野邦弘議員　方向性の検討とは、以前出された冠荘の移設等の案は基本的に白紙とし改めて検討し直すのか。

農村政策課長　移設の件は、道路整備エリア計画で絵にしたことがあるが、白紙で考えるのではなく、計画を振り返りながら肉付けして検討する。

丸石議員　アドバイザー謝金と基本構想図作成業務委託料が発生しているが、アドバイザーはどのような方が来るのか。また、基本構想図は、どこに依頼し、どういう位置付けとなるのか。

農村政策課長　アドバイザーは決まってない。農村観光、グリーンツーリズム、志津原地区を入り口とし、どういう観光の受け入れがよいかなど、先進的取り組みを実践している方を交え、我々も知見を受け勉強し、計画づくりに反映させたい。

農村政策課長　2期目10年を迎え、近隣地に同様施設ができTPAのハード的魅力だけで集客できないという考えで3期目の計画を立てる。

宇野一正議員　計画策定に当たり関係集落の住民にも参

クリーニングサービス
のルール改正
保健福祉課関連

宇野邦弘議員　65歳以上の一人暮らしの方の毛布や布団のクリーニングサービスだが、75歳以上になり、回数も減ったのはなぜか。

保健福祉課長　寝具洗濯サービス事業は、町から社会福祉協議会へ委託している事業。「65歳以上の一人暮らしの方」「重度身体障害児者、知的障害児者」「介護認定4以上の方」を対象としており、今年度からは一人暮らしの方の対象年齢を75歳以上に変更した。理由としては，65歳以上75歳未満の利用が少なかったことに加え、比較的自立して生活でき、自身で対応可能な方が多いと考えられたためである。洗濯枚数は全部で3枚。普段使用している寝具を対象とした。

土砂崩れの復旧
まちと森整備課関連

岡村議員　寺谷集落から広瀬集落(町道板垣持越線)の復旧工事はいつ通行できるのか。

まちと森整備課長　令和9年3月末を開通予定としている。

▲町道板垣持越線土砂崩れ(令和7年12月発生)

一般質問とは、議員が町行財政全般にわたって、自らの意見を述べ、執行機関に見解を求めるものです。

一般質問 いっぱん しつもん

宇野 一正 議員

再生可能エネルギーについて

問 新設する3か所の小水力発電が100％稼働すると、1世帯にはどれくらい恩恵があるか。

答 脱炭素むらづくり課長

本事業の目的は、個々の世帯における電気料金の軽減額を直接的に示すものではなく、エネルギーの地産地消の推進、再生可能エネルギー電力の安定供給など、町全体としてのメリットを確保することにある。

問 高齢者住宅では、太陽光パネルを自宅屋根に設置することに難色を示す方も多いときいている、普及推進のためにも、集落単位の野立式太陽光パネルの活用はどうか。

答 脱炭素むらづくり課長

融雪型太陽光発電のPPA事業は、契約期間が10年、20年と長期になることに対して高齢者世帯から不安の声もあると認識している。現在は制度を見直し、長期契約に限定しない一括導入型のメニューを6月から運用を始めている。

なお、集落単位などでの野立て太陽光パネルの共同設置方式については、住民からの申し出があれば対応する。

問 屋根太陽光パネルの管理オプションとして雪下ろしがあるとあるが、まずは雪下ろし作業者を組織化し作業の効率化を目指すべきではないか。

答 脱炭素むらづくり課長

屋根雪対策は池田町の暮らしの中で重い課題だが、本事業の主体業務ではなく、各集落における自治相互扶助機能の発揮により取り組んでいただきたい。

問 冠荘やフォーシーズンテラスの電気代を抑えるために、ジップライン駐車場での太陽光発電を実施すれば、新しい観光の在り方につながるのではないか。

答 脱炭素むらづくり課長

本町においては、脱炭素先行地域計画の中で、令和10年度から11年度にかけて冠荘の駐車場において太陽光発電の導入を計画している。

▲ほっとプラザ駐車場の太陽光パネル

▲あそびハウスの太陽光パネル

宇野 邦弘 議員

先進的な補助制度の取り組みを求める

問 県内で中学校給食無償自治体はいくつあるのか。

答 教育委員会事務局長

県内では9自治体で実施している。他の自治体でも概ね食材費の5～9割の保護者負担となっており、池田町でも保護者負担は食材費の半分程度である。現在、国も中学校給食無償化の検討もしており、その動向を注視していきたい。

問 福井市における加齢性難聴の方への補聴器購入費補助内容と、全国での取り組み状況はどうなっているのか。

答 保健福祉課長

補聴器購入補助自治体は全国で475自治体あり、概ね2～5万円の補助。現在、池田でも認知症予防の観点から対象範囲や補助割合など検討し、令和9年度からの事業化を考えている。

問 越前市で創設された空き家補助制度を参考に池田町でも事業化できないのか。

答 総務財政課長

越前市では老朽危険空き家に該当した場合に解体費用の3分の1、最大70万円の補助をするというものである。

義務教育費の保護者負担の軽減努力を

問 文科省の「学校における補助教材費及び学用品等に係る保護者負担の軽減について」の通知内容と、町としての負担軽減策についての考えは。

答 教育委員会事務局長

通知の内容は、教材費の保護者負担額（小学校28，000円、中学校35，000円程）の説明や、また負担軽減の参考事例として、保護者負担で購入していた教材の学校備品化などが紹介されている。

本町では入学支度金制度や、修学旅行費補助（小学校6万円、中学校10万円上限）、校外学習や中学校冬季通学の際のバス代経費の町負担を実施している。また、タブレット端末を用いたデジタルドリルの活用などによる費用軽減や、PTAでは卒業アルバム費用の助成も行っている。

戦争準備を進める高市政権の動きについて

問 国では憲法9条改定など「戦争できる国」への動きを強めている。また、「予備自衛官等兼業特例法」を創設して、職場の上司等の許可がなくても動員できるようにしようとしている。憲法で謳われている地方自治を踏みにじるものであると考えるが、町長の思いはどうか。

答 町長

憲法改正について活発化しているかもしれないが、これに対しての国民の意見も多様化していると感じている。私としては丁寧な国会議論を願いたいとともに、その議論を注視していきたい。

清水 龍司 議員

災害対応・防災について

問 町外から通勤する職員が増える中、大規模災害時には職員自身も被災する可能性がある。限られた人員での参集体制や役割分担、何を最優先に対応するのか。その優先順位は職員間で共有されているのか。また、特に発災直後は情報が集中し混乱が生じやすい状況での警察・消防・集落との連携、高齢者施設や学校等との情報共有・安否確認・命令指揮系統はどのようにおこなうのか。エネルギーや食料などの備蓄状況、さらに倒木や流木などによる二次災害防止対策はどのようにおこなっているのか。

答 総務財政課長

震度4以上の地震では全職員が参集。災害対策本部を設置し、初動対応をおこなう。人員が限られる場合は人命を最優先とし、避難情報の発令、医療救護、避難者支援、情報収集を実施。警察・消防・消防団・県と情報を一元化し、教育・福祉施設では各施設のマニュアルに基づき安全確認を実施する。また、要支援者は個別避難計画に基づき安否確認や避難誘導をおこなう。

電力やガスは、福井県LPガス協会や北陸電力株式会社、北陸送配電株式会社などと協定を締結しており、町所有の発電機やPHV車も導入済み。飲料水は備蓄に加え、浄水場から直接給水可能。協定事業者からの生活物資供給要請ができる体制も整えている。

倒木や流木については、平時から伐採や点検を行い、災害時には県や電力会社、地元業者と連携し道路確保や二次災害防止に努めている。

要望

大規模災害では行政だけでなく、町民も協力して対応できる体制づくりが重要。それぞれの得意分野を生かした役割分担で進めていただきたい。災害対応は自治体・地域全体で取り組む長期戦。職員・町民が継続して活動できる環境を整え、連携を深めながら本町の災害対応力のさらなる向上を期待する。

丸石 純一 議員

大型公共工事の進捗

問 足羽川ダム工事と、割谷川小水力発電施設と、木質バイオマス保管庫建設工事、おもちゃハウス立替工事について、工事の進捗状況と、完成予定時期について。

答 まちと森整備課長

足羽川ダム本体コンクリート打設進捗率 約95％。水海川導水トンネル掘削は完了、呑み口部・分水堰工事に着手中。付替県道進捗率 約75％、付替町道 約41％。令和10年11月に湛水試験開始、令和11年度中完成予定。

答 脱炭素むらづくり課長

割谷川小水力発電は、用地業務・設計業務を進行中。令和11年度中稼働見込み。

木質バイオマスチップ保管庫はチッパー設置建屋を7月発注予定、年末～年明け完成予定。チップ保管庫は今年度設計、来年度建設し令和9年12月末完成予定。スケジュール通り進捗中。

答 統括管理官

おもちゃハウスは建替え実施設計完了。中東情勢による建築資材高騰・供給不足のため発注見送り中。最長で来年3月発注、秋完成を目指す。

空き家解体補助

問 解体補助事業の制度設計の進捗、区長会要望の反映状況と「クラッシュ＆ギフト」の位置づけ、数値目標の達成見通しと実態調査の状況、指導や勧告が行われたかどうか。

答 総務財政課長

空き家等対策計画では自治運営活動との連携を基本方針とするため、個人への補助は現在設けていない。クラッシュ＆ギフト事業も各集落の活動計画が未策定のため制度化に至らず。令和7年度の空き家数は123軒（計画見込みと乖離）。空き家法に基づく勧告等の実績なし。

答 町長

クラッシュ＆ギフト事業は、区長会からモラルハザード等の懸念意見があり事業化を踏み切れていない。議会からの「まず実行を」との提案を踏まえ、制度内容を再検証し来月の区長会で再度提案。区長会の同意が得られれば実行に移したい。また空き家・獣害対策は総合戦略会議でも議題とする方針。

池田町議会だより　第38号　令和8年8月1日発行　池田町議会　〒910－2512　福井県今立郡池田町稲荷35－4　TEL.0778－44－8007　FAX.0778－44－6296

新庁舎・付属棟進捗状況

令和７年10月から建物を支える杭工事を行い、建物の土台を造る基礎工事・建物の骨組みを造る躯体工事が完了しました。７月15日から町民ホールの鉄骨屋根建方を行っています。８月中旬から10月にかけて木造の柱や梁を組み上げる木造建方を４工区に分け施工を行います。その後、外装・内装・設備および外構工事を行っていきます。

地域コミュニティ交流事業交付金をご活用ください

地域の間で交流を深め、地域コミュニティの誇りと相互扶助の精神を再生・向上させることを目的とした「地域コミュニティ交流事業交付金」があります。

活用地区　角間郷地区、水海、下地区、下池田

活用集落　板垣、稲荷、東俣、土合皿尾、西角間、水海、上荒谷、清水谷

夏祭り、交流会、レクレーション大会など

＼さらに主体的な活動へ／
～集落自治再生支援事業～

コミュニティ交流から生まれた活動を、さらに主体的な取り組みへと発展させたいとお考えの集落には、「集落自治再生支援事業」があります。

活用地区　角間郷地区

先進地の視察、地域運営組織立上げ準備など

住民の皆さんが主体的に地域活動に取り組み、地域における豊かな暮らしを実現するための制度です。
地域のお祭り、先進地視察、勉強会などを企画される際は、ぜひこれらの交付金・支援事業をご活用ください。

議会広報特別委員会

委員長　清水　龍司
副委員長　宇野　一正
委員　丸石　純一
委員　富田　重弘
委員　岡村　祐

発行責任者

議長　松井　靖明

編集後記

今年も気が付けばもう夏です。6月定例議会の補正予算では、今年の重たい積雪による町内公共施設屋根の破損修繕費が多数ございました。近年は猛暑と豪雪を往復する一年のように感じます。これから夏本番ですが、お身体を労りながらお過ごしください。

（岡村　祐）